



**UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific**  
世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センター

2014年1月29日

## 国連世界観光機関（UNWTO）

### 世界観光指標（World Tourism Barometer）2015年1月号

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、UNWTO本部での準備完了次第、

下記リンクにて抄録（無償）及び

全文（有償）をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

PR No.: PR 15006

マドリッド

2015年1月27日

#### 2014年の国際観光客は11億人を突破

最新のUNWTO世界観光指標(World Tourism Barometer)によると、2014年の国際観光客到着数は前年比4.7%増の11億3,800万人に達した。UNWTO長期予測では、2015年の国際観光客到着数は3%~4%増加し、世界経済の回復に更に貢献することが予測される。

2014年の国際観光客到着数（宿泊者）は、2013年から5,100万人増加し、11億3,800万人に達した。これは前年比4.7%の増加であり、2009年の経済危機以降5年連続で平均成長率を上回った。

UNWTO タレブ・リファイ事務局長は「過去数年に渡り、観光は何十億ドルもの輸出と何百万人も雇用を創出する驚異的に回復力の強い経済活動であり、経済回復において根本的な貢献をしてきたことが証明された。世界における全てのデスティネーションに言えることであるが、特にヨーロッパは同地域における過去最悪の経済状況からの回復に苦しんだ。」とマドリッドで開催されたスペイン・グローバル・ツーリズム・フォーラムの開会式でコメントしている。

地域別では、米州（7%増）、アジア・太平洋（5%増）が最も強い成長を示し、一方でヨーロッパ（4%増）、中東（4%増）アフリカ（2%増）がやや緩やかな成長であった。準地域では、北アメリカ（8%増）が最大の成長を示し、北東アジア、南アジア、南・地中海ヨーロッパ、北ヨーロッパ、カリブ海がそれぞれ7%の増加でこれに続いた。

近年の動向をみると、2014年の国際観光収入の伸びは、国際観光客到着数の増加にほぼ近くなると見込まれている（2014年の国際観光収入実績は、2015年4月に発表を予定）。2013年の国際観光収入は、1兆1,870億米ドルとなり、世界経済危機前の2008年から2,300億米ドルの増加となった。

## 2015年は前向きの見通し

UNWTO の長期予測によると、2015 年の国際観光客到着数は、3%~4%増加することが見込まれている。地域別では、アジア・太平洋地域（4%~5%増）及び米州（4%~5%増）が力強く成長し、これにヨーロッパ（3%~4%増）が続いた。アフリカでは 3~5%の増加、中東では 2%~5%の増加が見込まれている。

リファイ事務局長は先述のコメントに続け、「前途に多くの課題が存在するものの、世界経済の状況の回復と共に 2015 年における観光需要は引き続き高まるものと期待している。プラス要因としては、石油価格が 2009 年以降これまでにないレベルまで下がったことがある。これは石油の輸入国における購買力及び民間需要を高め、輸送費が軽減し経済を成長させるだろう。しかし、堅調な観光送客市場とされる石油輸出国にとってマイナスの影響を与える可能性もある。」と述べている。

2015 年の前向きな見通しは、UNWTO 指数(Confidence Index)で確認されている。世界各国の 300 名の観光専門家たちは、同指数について 2015 年の観光は 2014 年ほど楽観的ではないものの成長することを期待している。

### ヨーロッパ 世界最多の観光客訪問地の地位を確立

ヨーロッパ（4%増）は、2014 年の到着数が 2,200 万人増加し、世界の到着数の過半数を占める合計 5 億 8,800 万人に達した。これにより、観光はヨーロッパの経済回復に貢献した主要なセクターとなった。北ヨーロッパ及び南・地中海ヨーロッパが成長を牽引し（それぞれ 7%増）、西ヨーロッパ（2%増）はより緩やかな成長となった。中央・東ヨーロッパ（0%増）の到着数は、3 年間力強く増加した後、停滞している。

アジア・太平洋の国際観光客到着数(5%増)は、1,300 万人増加し、2 億 6,300 万人となった。最も堅調な実績を見せたのは北東アジア及び南アジア（それぞれ 7%）であった。オセアニアの到着数は 6%の増加となり、東南アジア（2%増）は前年に比較し緩やかな伸びとなった。

相対的に見て、米州の到着数は、7%増の 1,300 万人の増加となり 1 億 8,100 万人と好成績であった。これはメキシコの 2 桁成長や、カリブ海（7%増）の増加による北アメリカ（8%増）の成長に牽引されたためである。中央アメリカ及び南アメリカ（それぞれ 6%増）は、2013 年実績の 2 倍となり、世界の平均を大きく上回った。

中東（4%増）の国際観光到着数は、ほとんどのデスティネーションで良い結果が得られ、回復の兆しを見せた。同地域の到着数は 200 万人の増加となり、合計 5,000 万人となった。アフリカの国際観光客到着数は、2%の増加が推定され、5,600 万人に届いた。西アフリカの数カ国におけるエボラ出血熱の発生にもかかわらず、北アフリカ(1%増)、サハラ以南地域の到着数は 3%の増加となった。アフリカ及び中東からのデータは、現状では限定的で不確定なデータを元にしており、取扱いには注意を要する。

### 従来 of 送客市場の需要が回復

従来 of 送客市場からの国際観光支出の好転が、過去数年間において成長を見せた多くの新興諸国の観光支出の減少を埋め合わせた。

2014 年の中国からの到着数は 1,100 万人増加し 1 億 900 万人になることが見込まれている。同国における同年の観光支出は、第三四半期までにおいて 17%の増加となり力強く成長したが、

前年比では緩やかであった（2012年40%増、2013年26%増）。中国は2012年以降、世界で最大のアウトバウンド市場となり、2013年の全体の支出は1,290億米ドルであった。

その他二つの主要な新興国のうち、ロシア連邦（6%減）は2014年に明らかに勢いを失い、ブラジルはブラジル通貨（レアル）に対する米ドル高及び緩やかな経済成長にもかかわらず成長は2%に留まった。上位10位以下では、サウジアラビア、インド、フィリピン、カタールが何れも30%以上の成長を見せ、これらの比較的小さな新興国における支出は着実に成長した。

従来の送客市場の国際観光支出の回復が、前年に成長を見せた多くの新興諸国からの観光支出の減少を埋め合わせた。世界第2位の送客市場である米国の支出は6%成長した。注目すべきことは、フランス（11%増）、イタリア（6%増）そしてイギリス（4%増）が回復したことである。

リンク

**UNWTO 世界観光指標**

<http://mkt.unwto.org/barometer>

インフォグラフィック：2014年国際観光客到着数（地域別）

[http://dtxqtq4w60xqpw.cloudfront.net/sites/all/files/pdf/ita\\_2014\\_nominal\\_jan\\_2015\\_en.pdf](http://dtxqtq4w60xqpw.cloudfront.net/sites/all/files/pdf/ita_2014_nominal_jan_2015_en.pdf)

インフォグラフィック：2014年国際観光客到着数（地域別成長率）

[http://dtxqtq4w60xqpw.cloudfront.net/sites/all/files/pdf/ita\\_2014\\_map\\_jan\\_2015\\_en.pdf](http://dtxqtq4w60xqpw.cloudfront.net/sites/all/files/pdf/ita_2014_map_jan_2015_en.pdf)

インフォグラフィック：なぜ、観光が重要なのか

[http://dtxqtq4w60xqpw.cloudfront.net/sites/all/files/pdf/why\\_tourism\\_jan\\_2015\\_en.pdf](http://dtxqtq4w60xqpw.cloudfront.net/sites/all/files/pdf/why_tourism_jan_2015_en.pdf)

**UNWTO ツーリズムハイライト 2014年版**

<http://www.e-unwto.org/content/u03633/>

○**UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)**とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年6回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○**国連世界観光機関 (UNWTO) アジア太平洋センターについて**

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO アジア太平洋センターは、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同センターではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

(お問い合わせ先)

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター

担当：藤永、藤井、吉田

電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883

E-mail: info@unwto-aptec.org